

下田市新中学校の必要面積及び概算事業費等について

3 2中学校のメリット・デメリット及び概算事業費

今回行ったアンケートから2中学校のメリット・デメリットを以下のとおり、取りまとめました。また総事業費についても、現時点での概算事業費について記載しております。

※総事業費については、あくまでも第2回検討会議で検討するための資料として、教育委員会学校教育課が試算したものです。正式な事業費については実施設計等により、今後、算出されます。

敷地	新築 ／改修	総事業費試算	アンケート意見からのメリット	アンケート意見からのデメリット
稲生沢中学校	新築	約 25 億円 (うち市負担 17 億円)	・ 下田駅まで平坦な道路であり、自転車通学等も通学しやすい。 ・ 蓮台寺駅もあり、電車通学できる（バス代より安い）。 ・ 路線バスで通いやすい（通学の時間が下田中よりも平均的）。 ・ 家屋も多く安心でき、地域の方の目が行き届く範囲に学校があると、町全体が活性化 する気がする。 ・ 小中高校と密集しており、地域の安全面への配慮が下田中学校よりも行き届いている。 ・ 下田高校の近くにあり、教育の場の中・高生一緒に取り組む機会も増えて、お互いに 意識や責任感が生まれてメリットになる。 など	・ 高校、小学校、中学校が集中すれば、歩道整備をしても自転車通学の生徒による道路 の占有率も増えることは確実。 ・ 稲生沢中は周囲の道路が狭く、通学時に危険が伴う。また、行事の時の渋滞、駐車場 不足が心配である。 ・ 稲生沢中の場合、交通面での不安が大きいです。今、下田高校では自転車の乗り方、 歩道の歩き方、朝の交通規制などが再三呼び掛けられています。それを考えると生徒 数が増えた時の渋滞や自転車、車による事故等、不安が広がります。 ・ 天災（川の増水、津波他）を考えた時に土砂により水害での避難が一番重要だと思っ ているため。 ・ 多くの生徒が下田高校に進学することを考えると通学の負担の面、気持ちの面でも6 年間同じ地区より変化がある方が望ましいと考える。 など
	増築 及び 改修	約 19 億円 (うち市負担 11 億円)		
下田中学校	新築	約 27 億円 (うち市負担 20 億円)	・ 設置基準及び全て市有地であること。近隣が密集しておらず、稲生沢中学校より広大 な敷地の環境の中で学校生活を送れる。緑に囲まれていて子どもの環境にも良い。 ・ スポーツ教育を充実させることができる。周囲の道路が広く、行事の時や緊急時に安 心して車で行くことができる（駐車場等も確保できる）。 ・ 保護者が参加する行事(運動会や発表会)の時、遠方から来る人たちの駐車場を確保で きる。 ・ 災害（特に地震）がおこった時、サンワーク・子ども園・敷根グランド共に避難の拠 点となり安全であるとともに、中学生がボランティア活動の中心となってもらえる。 ・ 教室数などキャパシティが大きいのでそのまま使用できると思うから。 ・ 歩道の整備もされている為、通学時安全。トータル的に良い条件が揃っている為。 など	・ 下田中学校では、稲梓地区の生徒の通学距離が遠くなり、負担が大きい。 ・ 高台ということもあり、自転車通学等通学しにくく、下田中学校までの通学路も周囲 に人家がなく、防犯上心配である。 ・ 下田中学校になった場合、通学路に津波浸水域があるので、安全とは言えない。 ・ 敷根公園での大会や行事などの送迎、GW、夏季等、渋滞がひどいため。 ・ 高台という事では下田中学校でも良いと思うが、災害時に敷根は道路が1本しかなく、 しかも山からの被害（崖崩れ）も考えられるので。 など
	増築 及び 改修	約 19 億円 (うち市負担 13 億円)		